

「青森市中世の館」の展示パネルをリニューアル



リニューアルした展示パネル

青森市中世の館は、浪岡城跡の出土遺物を中心とした展示施設に文化ホールを備えた複合施設として、平成4年(1992)に開館しました。

昨年度に実施した高屋敷館遺跡展示コーナーの設置に続いて、今年度は、老朽化した展示パネルのリニューアルを行いました。

今回のリニューアルでは、イラストを加えたパネルへの更新や、新たに浪岡城跡の発掘調査成果に関するパネルを設置しました。

また、展示物を照らす天井の照明をLED化しました。

昨年度から進めてきた中世の館展示室のリニューアル作業は、今年度で終了となります。



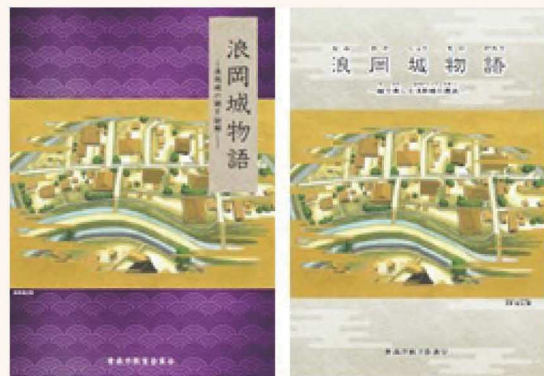
発掘調査成果に関するパネル

「浪岡城物語」が完成しました

浪岡城物語は、「国指定史跡 浪岡城跡」の発掘調査成果や文献等を基にストーリー化したパンフレットです。

一般向け（WEB版のみ）と子ども向けの2種類を作成しましたが、どちらのパンフレットもイラストを用いて説明しており、浪岡城の歴史をわかりやすく学ぶことができます。

これらの冊子は、文化財課のホームページ「いにしえ青森」でダウンロードすることができます。



小牧野遺跡の環状列石の防カビ作業を実施しました

長年の露出展示によって、石の表面に付着したカビの除去と発生を抑制するため、環状列石の防カビ作業を行いました。

作業は、石に付着したホコリを落としてから、ハケを使って薬剤を塗布しました。

また、今年度は、環状列石の崩落防止のため、石の根固め作業も行いました。



薬剤を塗布する前



薬剤を塗布した後

「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録決定まであと一歩！

小牧野遺跡を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」については、順調に進めば、令和3年7月頃に開催予定の世界遺産委員会で、登録の可否が決定する見込みです。青森市では、令和3年度に世界遺産委員会のパブリックビューイングを実施するほか、登録決定となった場合には、記念式典を開催するなどの取組みを予定しています。



世界遺産登録を目指す小牧野遺跡



遺跡を大切に



青森市では、現在までに420箇所以上の遺跡が見つかっています。遺跡は、地下に埋もれているため、遺跡として登録されていない場所でも、新たな遺跡が発見されることがあります。

地面を掘削するような開発行為等を行う場合には、計画の早い段階で、開発予定地内における遺跡の有無について照会してください。

【問合せ】 青森市教育委員会事務局 文化財課

青森市新町1丁目3番7号 駅前庁舎3階 ☎ 017-718-1392 FAX 017-718-1394